

1. Today's goal / 今日のゴール（生徒ができるようになること） e.g. Students can ask a partner about the weekend.

2. Your part today / ALTの見せ場（1つ選ぶ）

☐ Do the model dialogue with me. モデル提示—導入で2人の会話を実演する

☐ Split the room with me — you take the far half. 机間分担—活動中は左右に分かれて回る

☐ Be our interview guest — students ask you in English. 情報差—生徒が英語で聞き出す相手になる

☐ Other: _____

Topic I'd like you to talk about: _____ e.g. your weekend / your hometown

3. One thing to agree on today / 今日ふたりでそろえること（1つ）

☐ Let's give students three seconds before either of us helps.

☐ Let's correct only _____ today (e.g. -ed endings) ☐ Other: _____

4. Flow - circle who leads / 流れ（進める人に○。もう一方が支える）

Warm-up (5 min)	Presentation (10)	Practice (15)	Production (15)	Wrap-up (5)
JTE ・ ALT	JTE ・ ALT	JTE ・ ALT	JTE ・ ALT	JTE ・ ALT

Please prepare: _____ by _____ Next time: _____ Unit _____

After the class (optional): what worked / what to change _____

----- 切り取り線 -----

1. Today's goal / 今日のゴール（生徒ができるようになること） e.g. Students can ask a partner about the weekend.

2. Your part today / ALTの見せ場（1つ選ぶ）

☐ Do the model dialogue with me. モデル提示—導入で2人の会話を実演する

☐ Split the room with me — you take the far half. 机間分担—活動中は左右に分かれて回る

☐ Be our interview guest — students ask you in English. 情報差—生徒が英語で聞き出す相手になる

☐ Other: _____

Topic I'd like you to talk about: _____ e.g. your weekend / your hometown

3. One thing to agree on today / 今日ふたりでそろえること（1つ）

☐ Let's give students three seconds before either of us helps.

☐ Let's correct only _____ today (e.g. -ed endings) ☐ Other: _____

4. Flow - circle who leads / 流れ（進める人に○。もう一方が支える）

Warm-up (5 min)	Presentation (10)	Practice (15)	Production (15)	Wrap-up (5)
JTE ・ ALT	JTE ・ ALT	JTE ・ ALT	JTE ・ ALT	JTE ・ ALT

Please prepare: _____ by _____ Next time: _____ Unit _____

After the class (optional): what worked / what to change _____

単元まるごとの分担プランナー

教科書_____ 中__年

単元		時数	全__時間 ALTの来校__回
単元のゴール (can-do・I文)			

I 時間ごとの分担（ALTが来る時間に見せ場を1つ置く）

時 Lesson	その時間のねらい Aim	ALT 来る日に ○	見せ場の型 ALT's role	用意するもの・依頼 To prepare
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

見せ場の型＝①モデル提示（2人の会話で新出表現を実演）②机間分担（活動中に左右で分かれて回る）③情報差（生徒が英語で聞き出す相手）。Small Talk・発表の聞き手・スピーチの講評も型として使える。

2 この単元でALTと決めておくこと（30分の議題）

議題	決めたこと
ALT主導の活動を1つ決める	
本物の題材（写真・実物・出身地の話）	
単元末の発表・やりとりで頼むこと	
次に相談する日（次回の30分）	

3 短く送るための英文（チャット・メール用）

依頼 Tuesday the 9th, period 3: Unit 5, goal = asking about places. Could you bring three photos of your hometown? About five minutes is all we need.
確認 Just to check: you'll do the model dialogue with me at the beginning, right?
ふりかえりを聞く How did 2-I go from where you were standing? Anything you'd change next time?
お礼 Thanks for today. The interview activity worked really well — they kept asking you questions.

完全な文章にしなくてよい。単元・ゴール・依頼の3点だけ書けば、準備が「当日サプライズ」でなくなる。

考え方 5分は共有に使う。相談は紙とチャットに逃がす。

5分しかないのに、その場で授業の相談を始めるから足りなくなる。時間のかかる相談（単元の設計・ALT主導の活動）は月1回30分と2ページ目に、一瞬で済む共有（今日のゴール・見せ場・そろえること）は1ページ目のスリップに分ける。 ロで伝えた分は残らないが、紙で渡した分は授業中もALTの手元にある。書く欄が少ないのは、選ぶだけで渡せるようにしたため。

印刷 刷り方

1ページ目だけを片面で必要な回数ぶん刷り、切り取り線で半分に切る（1枚で2回分）。2・3ページ目は英語科に1部あればよい。単元の打ち合わせの日は2ページ目を刷って記入し、コピーをALTにも渡す。

見せ場 「見せ場」に何を書くか—3つの型と、その中身

型	ALTがやること	向いている場面
モデル提示	新出表現を、JTEとの会話で実演する。 Small Talkの相手になる	導入・対話文・本文の場面理解
机間分担	活動中、教室を左右に分けて2人で回る。声をかける回数が2倍になる	ペアワーク・ライティング・音読練習
情報差	生徒が英語で聞き出す相手になる（出身地・週末・学生時代）	インタビュー活動・Who am I?・発表の聞き手

どの型でも「話してほしいトピック」まで書く。Please help me. が最も動きにくく、Could you talk about your first week in Japan for two minutes? が最も動きやすい。

線引き お願いすること・しないこと

お願いしてよいこと	丸投げにしないこと
見せ場の担当／話す題材・写真の用意／モデル対話の相手／発音や表現の助言／活動中の見取りと感想／授業後のふりかえり	指導計画・学習指導案そのものの作成／評定の判断／生徒指導・保護者対応

文部科学省はALTを「担当教員の指導のもと、担当教員が行う授業にかかる補助をする」立場とし、指導計画・学習指導案を作るのは学校（担当教員）、役割分担をして授業を進める場合でも授業全体を主導するのは担当教員だとしている（学校教育法第37条第11項・第49条）。授業後は「担当教員と共に、自らの業務に関する評価を行い、改善方法について話し合う」＝ALT自身の業務のふりかえりで、生徒の評価ではない（スリップ最後の1行）。評定・生徒指導・保護者対応をこちらが引き受けるのは、禁止規定があるからではなく教諭の職務としての線引き。

確認 自校のALTは、どの形で来ているか

ALTの来方は大きく3つ。自治体による直接任用（JETプログラムでの任用を含む）と労働者派遣は学校の指示のもとで動く形なので、この1枚をそのまま渡してよい（派遣は契約で定めた業務の範囲内で）。業務委託（請負・準委任）は扱いが違—担当教員がALTに対して①指導内容や授業の進め方に係る具体的な指示②改善要求③ALTの行う業務に関する評価を行うことは、いずれも請負契約では実施できないとされ（文部科学省 平成21年通知・厚生労働省への確認）、請負で受託した業務がチーム・ティーチングである場合は労働者派遣事業と判断される（厚生労働省 平成26年回答）。依頼の出し方の問題ではなく契約の形の問題なので、自校が業務委託なら、使う前に契約の内容と依頼のルートを教育委員会・契約担当に確認する。

初回 新しいALTと最初に確認する7つ

- ①来校する曜日・回数と担当学年 ②授業以外の時間の過ごし方（席・給食・休み時間） ③連絡の手段と返信できる時間帯 ④呼び方（first name でよいか）と生徒への呼ばせ方 ⑤日本語をどこまで使ってよいか ⑥前任校でうまくいった活動を1つ聞く ⑦困ったときの窓口

条件別 来校が少ないとき・5分も取れない週

月2〜3回しか来ない—来る日を「やりとりの日」に固定し、来ない日は音声とTeacher Talkで回す。来た日に、次までに使う音声（本文・対話・語彙）をまとめて録っておいてもらう。

5分すら取れない週—1のゴールだけを書いた紙を机に置く。ゼロと1の差は、5分と30分の差より大きい。

次の一歩—ALT主導の活動を月に1つ決めて2ページ目に残す。ALTから出た提案は、まず一度そのまま採用してみる。

